



完成したかかしは、田んぼなどを見守ります

小川町で水質保全の EM 団子作りと交流活動 みんなの力できれいな水になあれ

9/7 小川町中小野区で地域住民ら約45人が参加し、EM 団子作りと交流活動が行われました。これは微生物の力でヘドロを分解する EM 団子で地域の水質保全につなげようと小川町土地改良区と地域資源保全隊が企画したもの。作成した EM 団子は、近くの水路やため池などに放流されました。参加した子どもたちは、かかし作りにも挑戦。「きれいな水になあれ」と、願いを込めながら顔を描きました。



発表後、賞状をもらってにっこり

第14回市童話発表大会が開催 誰かに伝えたい その思いを乗せて

9/7 ラポートで市童話発表大会が行われ市内の小学生17人が参加しました。市教育委員会の主催。参加者は童話の内容を、身振り手振りは控えながら声色に抑揚を付けることで、言葉の力を使って表現。集まった観客は物語に浸っていました。宇城地区大会の代表に選ばれた神谷実那さん(河江小6年)は「宇城地区大会ではより大勢の方にお話をしっかり伝えられるよう頑張りたい」と話しました。



結核をなくし、健康で明るい社会を目指します

複十字シール募金運動がスタート あなたの協力が結核予防につながります

9/9 熊本県健康を守る婦人の会宇城支部の5人が、複十字シール募金運動のため市長を訪問しました。これは、結核予防への理解や協力を進めるために8月～12月にかけて行われている募金運動で、例年、同支部が県内トップの募金額を集めています。支部会長の濱崎壽子さん(75)は「嘱託員や各種団体などを回って地域に働きかけています。結核感染を0にすべく今後も頑張ります」と力を込めました。



必要な量や値段を考えながら買い物しました

青海小児童が通学合宿 共同生活で知る感謝と思いやりのこころ

9/11～13 親元を離れ共同生活をしながら学校に通う通学合宿が郡浦市民館で行われ、青海小の4～6年生16人が参加しました。地域住民で構成する同実行委員会が毎年実施しているもの。集団生活や家事をすることで「感謝」や「思いやり」の気持ちを培うことが目的です。児童たちは「これからは、仲間と協力し、地域の人に感謝する気持ちを持って、日々の生活を送っていききたい」と決意していました。

豊福小の福岡海梨さんが市長と教育長に優勝を報告 努力の精神で空手の世界一を目指す

8/21 7月に東京武道館(東京都)で開かれた全日本硬式空手道選手権大会で優勝した豊福小の福岡海梨さんが守田憲史市長と平岡和徳教育長に優勝を報告しました。福岡さんは個人組手の小学5年生の部で優勝。来年開催の世界硬式空手道選手権大会(東京都)の出場権を獲得しました。「これまでの結果に満足せず、練習に励み世界一を目指したい」と話す福岡さんの表情は、気迫に満ちあふれていました。



防具を付けて試合を行う硬式空手で活躍

小川パトロール隊出発式 安全なまちづくりに奮闘

8/27 防犯ボランティア「小川パトロール隊」の出発式が小川町のイオンモール宇城で行われました。同隊は、交通事故防止に加え地域の安全を守ろうと、小川町の交通指導員のメンバーで発足。青色回転灯付きの車両(青パト)で週に2回、児童の下校を見守りながら警戒活動にあたります。隊長の須々美哲さん(68)は「地域を見守りながら安全なまちづくりに奮闘していきたい」と述べました。



宇城警察署長から委嘱状が交付されました

アグリパーク豊野が県内初 タイ王国へシャインマスカットを初出荷

8/27 豊野町の(有)アグリパーク豊野がタイ王国に向けシャインマスカット5^{キロ}入り10ケースを初出荷しました。これは、8月25日にタイ王国で適用された青果についての新たな規制に対応した県内で初めての輸出です。浅井正文代表取締役は「これからもブランド化や販路拡大を通して、生産者の所得向上と後継者確保につなげていきたい」とあいさつ。また、10月18日には太秋柿も日本初出荷しました。



冷蔵トラックで羽田空港に送られタイに空輸されます

松藤商事(株)三角事業所に国土交通大臣表彰 灯台を見守り46年

8/28 三角町の熊本海上保安部で、灯台監視協力団体に対する表彰式が行われました。表彰を受けたのは三角東港で油槽所などを運営する松藤商事(株)三角事業所。昭和48年から三角港内にある荷島灯台を監視し、異変があるときは海上保安部に通報するなど協力しています。同社の山本博久所長は「表彰の知らせを聞き驚いた。海の安全管理に関することなので協力できてうれしい」と喜んでいました。



賞状を持つ山本所長(前列右から2人目)